

2015年7月5日

国民投票 - ふたたび
アテネの広場から民主主義が
始まった



7・31 緊急学習会

ギリシャの人々は何を選択したのか？

EU・欧州中央銀行・IMF（トロイカ）の独裁支配にOXI（NO）！
5年にわたるトロイカ主導の緊縮政策は失敗 - ピケティ、スティグリッツをはじめ世界の経済学者もトロイカを厳しく批判

ΝΤΡΟΠΙΚΗ Η ΑΠΑΝΤΗΣΗ ΤΟΥ ΛΑΟΥ ΣΤΟΥΣ ΕΚΒΙΑΣΜΟΥΣ ΚΑΙ ΣΤΟΝ ΦΟΒΟ
61% OXI
στη λιτότητα



#ThisIsACoup これはクーデターだ！

ギリシャ政府に緊縮政策を強要し、債務の再交渉を拒否するドイツ・メルケル首相に非難殺到。
一方、チプラス政権の妥協をめぐっても激しい議論 - EUの変革へ、若きリーダーたちの模索が続く。

債務か民主主義か？

ギリシャの「債務問題」は国際的な金融機関に仕組まれたもの。資金はドイツやフランスの銀行に還流し、ギリシャの人々や経済には役立っていない。新政権の下で、債務の監査が始まっている。



7月31日(金)

報告☆「ギリシャ危機の背景——政府の放漫財政か、それとも欧州統合の構造的問題か？」

菊池恵介さん(同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科准教授、社会思想史)

午後6時半 エルおおさか7階709 (京阪/地下鉄谷町線・天満橋下車徒歩5分)

参加協力費 500円

主催:おおさか社会フォーラム実行委員会

連絡先:WSFおおさか連絡会 06-6966-9003/アタック関西グループ 06-6474-1167(喜多幡)